

と意欲的です。
高橋さんの活動がきっかけで西東京市ボランティアセンターでも傾聴ボランティア養成講座が始まり、活動グループもできました。

「ふれあい広場」とコミュニティづくり

「ふれあい広場」には拠点ができました。そこで高齢者のミニ・デイホームを月2回開催しています。高齢者のふれあい昼食会も福祉会館などで開いています。「大切なのはこれをきっかけに地域の中で顔見知りになる、人の繋がりができることなんです。」

メンバーは地域の防犯にも力を入れ、ロゴ入りの防犯バンドナを作って配布しています。

ふれあい広場のワンワンパトロールは、荒屋敷公園周辺に夕方になると集まる散歩のワンちゃん達に一役買ってもらう散歩とパトロールの一石二鳥のアイデアで続けています。もちろん犬も飼い主もバンドナをつけて歩いています。「防犯バンドナはコミュニティづくりです。バンドナをつけているとお互い親近感がわくんです。」地域の防犯活動によって、コミュニケーションが密になり、

防犯意識も高まる、それが防犯に繋がることになる、そのことの継続が大事なのだと話に力が入ります。

地域には地球の全ての問題がある

「人を支えるような活動、地域のためになるような活動をしたと思います、そういうことができる自分っていうのが本当に嬉しいです。」この地域づくりの魅力を現職のうちから知ってもらいたい。「地域には地球の全ての問題がある。足下にそれだけやるのがいっぱいあるんです。地域の課題を見つけて取り組むことで、人との繋がりを大事にする人間に変わっていきます。一緒に住んでよかったと、共通の喜びを育てられればいいなあと思っています。」「地域づくりの活動を団塊の世代の人たちに、いかに目に見える魅力として伝えられるか、彼らが『地域に生きる』きっかけはそこにあるのでしよう。」と語る高橋さんでした。

(注)「ふれあいのまちづくり住民懇談会」は社会福祉協議会の住民主体の地域福祉推進事業。小学校区単位で20地区。お住まいの地域の「ふれあいまちづくり」に関する情報は、

社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉推進係
TEL0424-38-3771

(%)

年代	1位	2位	3位
20歳代	地域のさまざまな人とのつながりができた (21.6)	地域・社会に対する貢献ができた (17.7)	達成感・充実感を味わえた (14.7)
30歳代	地域のさまざまな人とのつながりができた (24.8)	地域・社会に対する貢献ができた (14.1)	価値観を共有できる仲間ができた (11.8)
40歳代	地域のさまざまな人とのつながりができた (24.0)	地域・社会に対する貢献ができた (13.6)	知識やノウハウが豊かになった (12.8)
50歳代	地域のさまざまな人とのつながりができた (21.4)	地域・社会に対する貢献ができた (16.3)	価値観を共有できる仲間ができた (12.6)
60歳代	地域のさまざまな人とのつながりができた (21.2)	地域・社会に対する貢献ができた (15.2)	価値観を共有できる仲間ができた (14.1)
70歳以上	地域のさまざまな人とのつながりができた (24.0)	地域・社会に対する貢献ができた (15.9)	価値観を共有できる仲間ができた、知識やノウハウが豊かになった (12.0)

備考 1 内閣府「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」（2002年）により作成。
2 「あなたは現在、下表のA～Dのような活動をされていますか。」(A地縁的な活動 B.スポーツ・趣味・娯楽活動 C.ボランティア・NPO・市民活動 D.その他の団体・活動)という問に対して回答した人の割合を年齢階層別に示した。AからDの活動のうち、「地縁的な活動」又は「ボランティア・NPO・市民活動」をしていると回答した人についての割合(郵送版)。
3 回答した人は全国の20歳以上の男女、「地縁的な活動」については633人、「ボランティア・NPO・市民活動」については293人。

資料出所：内閣府 平成16年版「国民生活白書」より

活動することから得られる人とのつながり